

台風第 10 号に備えた肱川流域の取組状況について ～肱川流域の関係自治体等と今後の見通しについて共有～

台風第 10 号の今後の進路によっては、肱川流域で降雨による影響が予想されるため、流域の関係自治体等と今後の見通しについて共有するため、「肱川流域（水防災）緊急対応タイムライン危機感共有会議」を開催しています。

また、台風第 10 号の備えとして、野村ダム及び鹿野川ダムにおいては、事前放流等により洪水調節を実施するための容量を最大限確保しています。

さらに、矢落川（都谷川排水樋門）においては、都谷川流域の内水発生に備えるため、排水ポンプ車を事前に配置しています。

台風第 10 号の接近に伴い、河川の水位情報やダムの放流情報を確認し、早め早めの行動をとっていただきますようよろしくお願いいたします。

今後も、流域の関係者が一体となって、台風第 10 号への対応を取り組んで参ります。

○肱川流域（水防災）緊急タイムライン危機感共有会議の開催状況（別紙－1）

第 1 回：令和 6 年 8 月 27 日（火）15 時～

第 2 回：令和 6 年 8 月 28 日（水）14 時 30 分～

第 3 回：令和 6 年 8 月 29 日（木）10 時～

○野村ダム・鹿野川ダムの事前放流等の実施状況（別紙－2）

野村ダム：事前放流により約 761 万 m³ を確保（平常時の洪水調節容量の約 2.2 倍）

鹿野川ダム：予備放流により約 2,390 万 m³ を確保

○排水ポンプ車の配置状況（別紙－3）

矢落川（都谷川排水樋門）：排水ポンプ車 1 台（150m³/min 令和 6 年 8 月 28 日 10 時）

本施策は、四国圏広域地方計画「NO.1 南海トラフ地震を初めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

問い合わせ先

国土交通省	四国地方整備局	大洲河川国道事務所	Tel: 0893-24-5185(代)
	副所長	高島 愛典（タカシマ ヤスノリ）	（内 204）
	事業対策官	新川 和之（シンカワ カズユキ）	（内 208）
◎	工務第一課長	小谷 精司（コタニ セイジ）	（内 311）

国土交通省	四国地方整備局	肱川ダム統合管理事務所	Tel: 0894-72-1211(代)
	副所長	南本 秀行（ミナミモト ヒデユキ）	（内 204）
◎	管理課長	多田 寛（タダ ヒロシ）	（内 331）

- 肱川流域では、令和元年から水災害による肱川流域住民の人的被害ゼロを目指し、流域タイムラインの運用を実施している。
- 流域タイムラインの運用にあたっては、危機感共有会議を開催し、流域全体が一体となった情報交換、意思決定、防災行動をとっている。
- **今回も台風第10号に備え、四国最接近の3日前から危機感共有会議を開催**

【構成機関】

【学識者】 東京大学 松尾客員教授、愛媛大学 森脇教授、愛媛大学 羽鳥教授(地域防災担当)、CeMI 村中理事(気象防災担当)

【流域自治体】 大洲市、西予市、内子町 【消防】大洲地区広域消防事務組合、大洲消防団、西予市消防本部、西予市消防団

【警察】大洲警察署、西予警察署 【気象台】松山地方気象台、【愛媛県】大洲土木事務所、西予土木事務所

【四国地方整備局】大洲河川国道事務所、山鳥坂ダム工事事務所、肱川ダム統合管理事務所



- 野村ダムでは平常時の貯水位から、約6m低下させ、洪水調節可能容量を約761万 m^3 確保。(洪水調節容量の約2.2倍)
- 鹿野川ダムでは平常時の貯水位から、約3.7m低下させ、洪水調節容量全体約2,390万 m^3 確保。

野村ダム

事前放流を開始(8月26日11:00)



事前放流完了(8月28日11:20)

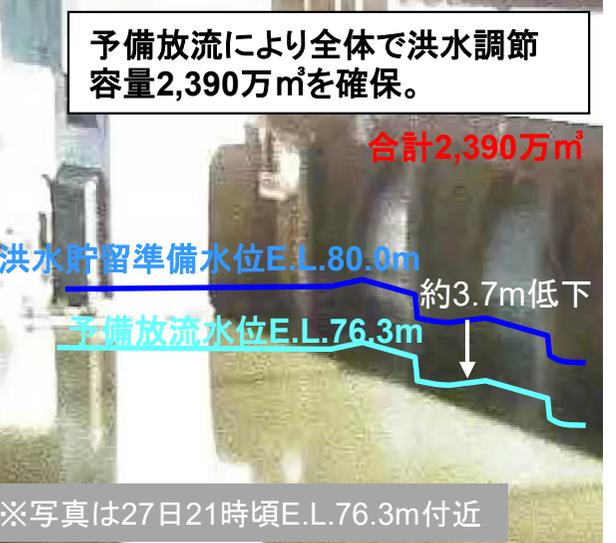


鹿野川ダム

予備放流開始(8月25日21:00)



予備放流完了(8月27日21:00)



野村ダム貯水位の様子



- 大洲市からの要請に基づき、東大洲地区の浸水被害を軽減するため、矢落川左岸0k/800付近都谷川排水樋門に 排水量 $150\text{m}^3/\text{min}$ の排水ポンプ車を8月28日(水)午前中に配置。

(参考) 令和5年7月梅雨前線時の配置状況

ポンプ車 $150\text{m}^3/\text{min}$ 1台
 $20\text{m}^3/\text{min}$ 1台
 $15\text{m}^3/\text{min}$ 1台



令和6年8月台風第10号での配置状況

ポンプ車 $150\text{m}^3/\text{min}$ 1台
(8月29日現在)

